

## 令和8年度 第1回学校運営協議会 会議録 (要点記録)

- 1 開催日時 令和8年4月27日(月) 13時35分から15時25分まで
- 2 開催場所 与進北小学校 ひだまり
- 3 出席委員 栗田 孝代、中根 その美、森田 良信、高杉 威一郎  
石田 みゆき(学校支援コーディネーター)
- 4 欠席委員 由井 浩志、鈴木 有、佐藤 元宏  
田光 美智代(学校支援コーディネーター)
- 5 オブザーバー 小島 宜大(長上協働センター主事)
- 6 学校 中村 則和(校長)、山田 正典(教頭)、阿部 泰幸(CS担当)  
瀧本 恵子(CSディレクター)
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 瀧本 恵子

### 9 会長の選出及び副会長の指名

司会から、会長の選出について委員に意見を求めたところ、栗田委員から森田委員を会長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。また、その後、会長に選任された森田委員から、栗田委員を副会長に指名する旨の報告があった。

### 10 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、森田会長から中根委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

### 11 協議事項

(1) 令和8年度 学校教育活動の基本方針・学校いじめ防止基本方針について

(2) その他

① 学校運営協議会の自己目標について

② 夢育やらまいか事業に対する意見書について

### 12 会議記録

司会の山田教頭から、9名中5名が出席しており、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 令和8年度 学校教育活動の基本方針・学校いじめ防止基本方針について

議長の指示により、中村校長から、別紙資料に基づき学校経営方針といじめ防止基本方針について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

①学校教育活動の基本方針について

- ・ 校訓の「進取」を、昨年度末くらいから子供達の間でも使うようになっていた気がする。校訓として、見るだけの言葉ではなく、自分の中に取り入れて行動するものだと実感した。(石田委員)

⇒ 「進取」を子供達との合言葉にした。全面に出していく。(校長)

- ・ 朝会に「進取」という言葉は出しているのか。(議長)

⇒ できるだけ出している。(校長)

- ・ 子供ファーストは素晴らしいと思う。ただ、全てが子供ファーストだけではなく時には先生ファーストでも良い。ファーストだけが先走らないように、先生達も無理をしないようにしてほしい。(会長)

⇒ 現場の先生の思いを大事にしたい。(校長)

- ・ 質問だが、ラーケーションについて、取り決めがあると思うが、教師としてどういう取り組みをしてほしいとか伝えられないのか。家庭で決めるのか。個人的には進むと良いと思っているが、うまく連携できなくていじめを含めて問題にならないと良い。どうなるのかなと思っている。(高杉委員)

⇒ ラーケーションについては基本的に家庭で決める。(校長)

- ・ 磐田の豊岡地区ではラーケーションを先行してやっていて、妻と子供が利用して、京都に2泊3日で史跡巡りに行った。事前に、どこに行き、何を学ぶかを書いた書類を提出した。先生に聞いたら他にも利用している家庭はあったので、浸透しているのではないかと思う。(小島さん)

- ・ 親が土日休みとは限らない。平日休みの親もいるから考え方としては良いと思う。(会長)

- ・ G I G Aスクール構想についてだが、1年から6年までP Cを使うのか。(高杉委員)

⇒ 1人1台タブレットがある。(校長)

- ・ 興味があつて聞くのだが、教科書はデジタルにならないのか。教科書だけでなく、図書室の本がデジタル化すると、年季の入った本もきれいに読めるし、破る心配や期限を気にせず読むことができる。(高杉委員)

⇒ デジタル教科書はある。今は英語と算数。デジタルの利点とブックの利点があり、両方の長所を取り入れながら子供達が学びやすいように教師が活用していく必要があると思っている。どう活用するか、上手く活用できるかが課題。(校長)

- ・ 図書のことと言うと、図書室にいかにか足を運ぶか、図書の先生が考えて工夫してくれているから、与北は来る方だと思う。デジタルがあれば本を読むことが増える手立てにはなると思うから、本離れは減るだろう。(石田委員)

- ・ 子供達にとってどちらが良いかで選ぶというのが学校の考えではないか。(議長)
  - ・ 「進取」を合言葉にして3つあるが、特に重点を置きたいものはあるか。地域で協力できる場所はどこか確認したい。(議長)
- ⇒ 3点とも力を入れたい。学習ボランティアさんが来てくれるが、すぐに教えたり手伝うのではなく、「進んで学ぶ子」「進んで挑戦する子」に絡むが、子供達に考えさせて、試行錯誤させて、時には失敗しながら、子供達自身で答えや解決方法に辿り着くような支援をお願いしたい。(校長)
- ・ 先生から「支援に入ってもらえると助かる。見守りをしてほしい。」と聞いた。子供にどうやるか聞かれたら答えるのではなく、「さっき先生何て言った？」という返しが1番嬉しいとのこと。支援する側が教えなきゃ、言われたことをやらなきゃ、とカんでしまう場合がある。見ているだけは難しいが、見守ってもらう。ただ、昨年度の3年生の与北じまんのように、講師として頼む時にはしっかり答えてほしい。去年の3年生は知りたいという欲が強く、「ここが気になる」「これを知りたい」「実物を見たい」と、難しい質問や予想していなかった質問が出た。
  - ・ 大人も学ばないといけないと良い刺激になった。(栗田委員)
  - ・ 学習支援は子供達に考えさせるような支援を心掛ける。CSで考えるのは学習支援だけではないので、他の事もできる事があればどんどん考えて実行できるように、ご協力をお願いします。(議長)

## ②いじめ防止基本方針について

- ・ 昨年度の54件は多いのか少ないのか。多い気がしてしまうがどうなのか。(会長)
- ⇒ 友達間のトラブルはもっとたくさんある。(校長)
- ・ 保護者にもいじめの認識について学んでもらう場が必要な気がする。(栗田委員)
  - ・ 親や祖父母世代が子供の頃に普通にあった事が今はいじめになっている。その世代がいじめの認識について変えようと思わない人が多い。(石田委員)
  - ・ 捉え方の違いでいじめになってしまうから難しい。保護者の問題もあると思う。(会長)
- ⇒ 起こった事にはきちんと対応していく。事実確認をしっかりと、1つ1つ誠実にやっていく事が大事だと思っている。保護者にも、参観会の後にいじめの考え方について伝えている。いじめの認識の温度差をできるだけなくしたい。(校長)
- ・ 学校教育の中の運動会や課外活動がうまくいっている年はいじめが少ないとか、そういうデータがあれば。大変かもしれないが、余暇活動を入れてコミュニケーションを取れるようにするのも良いかと思う。(高杉委員)
  - ・ 家庭のしつけに問題がある。悪い事をすれば叱られるのが当然で、叱られることでこれはやってはいけない事だとわかるのに、叱ることに文句を言う親がいる。(会長)
  - ・ 家庭のしつけが抜けていると感じる。今はしつけも学校、教育も学校。(栗田委員)

員)

- ・ 親を育てるのは難しいことだから、そこを地域でやっていかなきゃいけないのではないか。(議長)
  - ⇒ 今は社会の変化が激しすぎる。情報の拡散の仕方が通常ではない。共通の価値観以外入って来る余地がなかったのが、今は価値観がいろいろなところから流れ込んで来るため、いろいろな価値観でいろいろな子育てをする家庭が増えている。それぞれの価値観を持っている人が集まっているから、それを擦り合わせて共通の見解を持ってやっていかないと、コミュニティは立ち行かないのが今の時代。だからこそ、運営協議会でいろいろな方の意見を伺って、学校の方針を作り上げて、地域に広げていってという、手間の掛かることだがそういう世の中だと感じる。(教頭)
- 協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

## (2) その他

### ①学校運営協議会の自己目標について

議長の指示により、教頭から、今年度の目標について説明と確認があった。全員異議なくこれを了承した。

### ②夢育やらまいか事業に対する意見書について

議長の指示により、教頭より別途資料について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ 講師を呼んだ時の謝礼について、基準はあるか。講師料が発生した場合は夢育から可能か。(石田委員)
  - ⇒ 可能。団体には源泉徴収込みで、団体の方で源泉徴収をやって頂くことで講師料を渡すことはできる。謝礼を渡す基準は、メインになって教えて頂いたところに渡している。家庭科の見守りやお手伝いには謝礼としては出さない。(教頭)
  - ・ 今年度の謝礼の5という数字は、どこからか。(栗田委員)
  - ⇒ 毎年大体決まっている方の数。(教頭)
  - ・ 与北カフェの飲食はここから出るのか。(議長)
  - ⇒ それは別の予算になる。(教頭)
  - ・ 運動会の法被の反響はどうか。(石田委員)
  - ⇒ 保護者からは助かるという意見が多かった。使い勝手は、不織布なので、1度使うと使えなくなる。本当は継続して何年か使うつもりだったが、今年度また購入する。(教頭)
- 協議の結果、全員異議なくこれを了承した。

## 13 連絡

教頭より、次回会議は授業参観を含め、6月22日(月)13時35分からひだまり

で開催する旨、また、夏に与北コミスクカフェの開催予定と、3回目の会議は1年生の参観のため火曜日に開催する旨の報告があった。